

県民の切実な要求を否決

～共産党は8つの請願全ての紹介議員に～

6月定例議会には、

「『消費税10%増税の中止を求める意見書』採択を求める請願」（愛商連）

「テロ等組織犯罪準備罪法（共謀罪）廃止を国に求める請願」（新婦人）

「『共謀罪』法の廃止を国に求める意見書提出についての請願」（やめて！戦争法 天白の会）

「設楽ダム事業からの撤退を求める請願」（設楽ダムの建設中止を求める会）

「国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての請願」（社保協）

「介護保険制度の抜本的な改善を求める請願」（介護の会）

「農業外国人特区への慎重な対応を求める請願」（愛労連）

「農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願」（農民連）

の8つの請願が提出されました。

共産党県議団は、わしの議員が健康福祉委員会において国民健康保険についての請願と介護についての請願に賛成の討論を行いました。また、しもおく議員が振興環境委員会において設楽ダム事業についての請願に賛成の討論を行いました。

8つの請願はそれぞれの委員会において否決され本会議においても共産党のみの賛成で否決されてしまいました。



請願に賛成起立をする わしの・しもおく両議員

意見書案に反対討論

わしの議員



意見書案について反対討論を行うわしの議員

意見書については4会派から計7本の意見書案が提案されました。共産党は「戦争放棄を定めた憲法第9条を守ることについての意見書（案）」を提出しましたが、他会派からの賛同を得られず「取下げ」となりました（意見書は一つ以上の他会派からの賛成がないと議案にならないことになっている）。

他会派提案の二つの意見書（案）（いづれも公明党提案）に対してわしの議員が反対討論を行いました。

わしの議員は、「ギャンブル等依存症対策の強化についての意見書（案）」について「国は、カジノ施設を含む統合型リゾートの整備を目的にギャンブル依存症対策を進めようとしている」と指摘し、カジノと絡めてギャンブル依存症対策を語ることを批判。「カジノが生み出す依存症を防ぐためにはカジノを上陸させなことだ」と訴えました。

また、「チーム学校推進法の制定についての意見書（案）」については、「管理職層の配置を増やすなど学校長の『マネジメント力』を強化するものであり、チームワークが大切な学校職場の協働を阻害するもの」と問題点を指摘し批判しました。

この2つの意見書は、「踏切の安全対策の推進についての意見書」「待機児童問題の解決についての意見書」「鳥獣被害防止対策の強化についての意見書」「性的少数者に対して理解のある社会の形成についての意見書」の4つの意見書とともに採択されました。